

協会・組合が通常総会開催

優秀従業員表彰を挙行

講演会では勝ち残る企業経営聴講



記念式典であいさつする児玉理事長

協会及び組合では、5月29日午後から名古屋国際ホテルを会場に通常総会を開催。上程議案はいずれも異議なく承認された。

総会の後には、『第4回優秀従業員表彰』が挙行され、4名が表彰を受けた。また、今年は組合の創立45周年に当たり、記念式典が行われ、功労者が表彰された。また引続き行われた講演会では、元気塾主宰・経済ジャーナリスト正田文明氏を講師に迎え、テーマ「不況下でも勝ち残る企業経営」を熱心に聴講した。

組合の第45回通常総会では、議案審議はいずれも原案通り承認された。児玉理事長は冒頭、春の叙勲で、松栄工業所大森社長が、技能検定の功労が認められ、「瑞宝単光章」を受章したことを報告。技能検定実技試験の実施を始めとする、年間の事業を順調に消化できたと述べた。経済情勢については、まだ先が見えない段階であるが、明るい兆しが一日でも早く見られるこ

とを願う。また企業の存続は、人材の育成、スキルアップが重要であると強調した。

次いで開催された協会の第38回通常総会は、はじめに後藤会長が挨拶。昨年来の景気の下降時期については、ばらつきがあるが、順次回復へ向かって行く。今回受けた打撃は大きいですが、私達は何時でも「志を高くもって、ピンチをチャンスに変えて行く」意志を強くもって行きたい旨述べた。

引き続き議長の席に着き議案審議へ移り、全議案原案通り異議なく承認された。なお、第6号議案では新監事に(株)名機製作所代表取締役社長本荘豊氏の就任が承認された。

総会後の『第4回優秀従業員表彰』では、各事業所においてその事業所の発展に寄与し、多大な功績のあった従業員を事業所の推薦により表彰したもので、今回の被表彰者は4名。後藤会長は表彰に当たり、被表彰者となった自社の従業員の会社への貢献度を披露し、人材の尊さを強調した。



監事に就任した
本荘 豊氏

組合創立45周年記念式典

組合では昭和39年創立以来、今年で45周年を迎えたもので、式典では組合功労者を表彰した。原田副理事長の開会の辞に次いで、物故者黙とうを行い、引続いて児玉理事長が挨拶。創立当

時は、「熱硬化性圧縮成形」が主流であったと回顧し、今不況においては、試行錯誤しながら5～10年繋いで行きたい。また、生き残っていくには、少数精鋭で中身の強い会社づくりが大切である旨述べた

表彰は、中部経済産業局長賞2名。愛知県知事賞8名。理事長賞2名。また、理事長感謝状が、18名におくられた。

表彰の後は、来賓代表の中部経済産業局産業部足立次長、愛知県産業労働部地域産業課中野課長より祝辞があり更なる研鑽と、企業、組織の発展へのはなむけの言葉が贈られ、以上で閉会。引き続き会場を移動して懇親パーティーが開かれ、後藤副会長（タイセイプラス）の開会挨拶の後、名古屋市工業研究所濱田所長の乾杯音頭で懇親に入った。

【優秀従業員被表彰者】

足立 易（和泉化成）、久田裕次（ゴトープラスチック）、岩月セツ子（三葉化学工業）真山延泰（ヤマコー）。（敬称略）



被表彰者の皆さん

「不況化でも勝ち残る企業経営」

足田文明氏が記念講演

「不況」と言う言葉だけでは、語れないのが現状で、今こそ経営力が試される時。経営力とは、「持続的に企業を発展させる力」と、「好い時に慢心せず、次なる手を打つ」と言うこのふたつで、特に今のように、悪い時こそ「悲観せずに、次なる手を打つ」ことが、必要である旨

述べた。

「経済」と「経営」は、影響は大きいが違うもの。1973年オイルショック、1985年円高不況、1993年バブル崩壊といった、過去の大きな不況は、内・外需の拡大等で乗り切ってきたが、今回の不況の場合は、減量経営が必須。スリム化するには、仕事のやり方を根本から見直して、組織の生産性を高めて行く（無駄の排除）ことである。

生産性を高めるには、工程の組み合わせ、ラインの組立て（構造）と仕事を刻むリズムが効果を発揮するとし、また、宮崎交通Gの創業者岩切章太郎氏にみる、営業力強化、商品開発のポイントが紹介された。

知恵を行動にいかに移して行くかと言う点では、異業種から学ぶのが、実戦的である。トヨタ・ジャストインタイムなどがそれで、また、同業種においても失敗事例を徹底的に研究することで、学習を深められるとした。

企業が持続的に成長するためには「変化・対応・能力」の3つがポイントとなり、一番経営に大切なこととしては『自社最適システムの開発』と断言して講演を結び、その成功例として、鹿児島県の過疎地で、4,500坪の大型店「A-Zスーパーセンター」（24時間営業）を運営する（株）マキオを紹介した。

同センターは、全く業界の常識に捕われない発想展開で、販売アイテムはなんと33万にのぼり、軽自動車売るスーパーとして脚光を浴びた。



講師の足田文明氏

成形不良率低減への提案

「ハングリー成形法」

株式会社 日本油機

〒229-0003 神奈川県相模原市東淵野辺4-2-2
TEL 042-757-6681 FAX 042-757-6683
E-mail: nihonyuki@sunny.ocn.ne.jp

検定機全て電動式に 21年度前期技能検定実技試験

平成21年度前期技能検定1・2級（プラスチック・射出成形）の実技試験が6月8日愛知県立名古屋高等技術専門校（南区）で始まった。

今年度の実技受検者数は、1級305名、2級500名合計805名で、昨年より44名減少した。

景気の低迷を受け、受検者数の大幅な減少を



技能検定実技試験

学科講習会	
日時	平成21年8月2日（日曜日）
	午前9時30分～午後4時30分
場所	(社)名古屋中小企業福祉会館6階ホール 名古屋市中区大須2丁目19番36号(大須観音東側) TEL (052) 221-6721
講習内容	<ul style="list-style-type: none"> ・学科試験受験要領と心得 9:30～10:00 ・模擬試験 10:00～12:00 ・昼食 12:00～13:00 ・模擬試験の解説と質疑応答 13:00～16:00 ・担当講師 中部日本プラスチック職業訓練校 講師 林 盛彦 先生 ・模擬試験の採点結果発表 16:00～16:30

予想していたが5%位の減少に止まった。初めて挑戦する事業所も何社もあり、まだまだ技能検定試験を周知徹底する必要がある。

今年から全ての検定機が電動式となった。

採点会議は9月10日に名古屋市工業研究所で実施する。

また、8月23日に学科試験が実施されるため、8月2日（日）に学科講習会を開催する。（詳細は別記参照）

養成・向上訓練合同入校式 中部日本プラスチック職業訓練校

愛知県認定中部日本プラスチック職業訓練校の平成21年度養成・向上訓練合同の入校式が、4月17日名古屋市工業研究所第2会議室で開催された。

後藤校長及び列席の講師の先生より激励の言葉が贈られた。

式の後、事務局より今後一年間の訓練のスケジュールや注意事項などの説明、教科書の配布が行われ、養成訓練は午後からプラスチック概論の授業が実施された。

今年度は、養成訓練6名、向上訓練（通信制）1級7名、2級26名でスタートとなった。



入校式であいさつする後藤校長（正面）

射出成形機とホットプレス機の製造・販売

射出機の「^{いま}現在」を創り、
「^{これから}未来」を変えていく。



株式会社 名機製作所

〒474-8666 愛知県大府市北崎町大根2
TEL (0562) 47-2391(代) FAX (0562) 47-2395
<http://www.meiki-ss.co.jp>

工業薬品・合成樹脂・食品添加物・包装材料



陸物産株式会社

〒450-0002

本社：名古屋市中村区名駅5丁目23番5号
TEL 052-571-5121(代) FAX 052-565-0346

支店：東京・大阪 営業所：静岡

技能検定推進委員会を新設

全日本プラ連合会通常総会開く

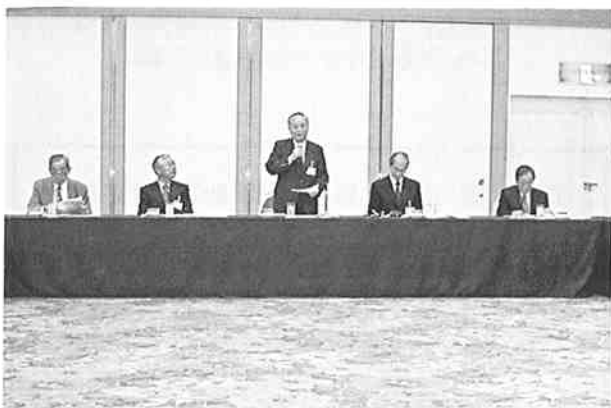
全日本プラスチック製品工業連合会第48回通常総会が6月4日午後3時から、東京品川プリンスホテルで開催され、各協会から31名参加、当協会から8名が出席した。

服部会長の挨拶の後、第1・2号議案平成20年度事業報告・収支決算報告、第3号議案収支差額処分方法案が承認され、第4・5号議案平成21年度事業計画・収支予算案が原案通り可決承認された。最後に第6号議案委員会規程を承認し、新たに技能検定推進委員会を設けた。これは、連合会とは別組織として運営されていたプラスチック成形技能検定推進協議会を解散して、連合会の委員会の一つとして運営することに変更したためである。

総会の後、第一実業(株)自動車事業統括室顧問の柘植映二氏を講師に迎え、「生産工場での4割コスト改善事例」のテーマで講演を聴いた。

懇親会では来賓の経済産業省製造産業局化学課高田修三課長が挨拶の中で、先日国会を通過した補正予算について、「繋ぎ融資」の保証枠が20兆円から30兆円に拡大されたこと、新商品の開発、販路開拓等に係る資金の2/3が補助金として受け取れる。総額700億円の予算があり、全国で2千件を予定している。今後も出来るだけの支援を行って行きたいと説明があった。

他に藤田治人課長補佐、薄井和善係長も同席された。和やかに歓談が進むなか、閉宴となった。



全日本プラスチック製品工業連合会 総会



ごあいさつ

全日本プラスチック製品工業連合会
会長 服部 和彦

「先ほどは第48回通常総会が円滑に終了し皆様のご協力に感謝申し上げますとともに、その後、柘植先生からは、「生産工場での4割コスト改善事例」という大変興味あるご講演を戴きました。重ねまして御礼申し上げます。

さて、この一年の連合会活動を振り返りますと、早いもので今年の第47回通常総会におきまして、山田連合会会長より引継いで新会長に就任いたしました。連合会の事務局も西日本協会から東日本協会へ移り、専務理事も樋笠氏から高橋専務理事へ交代いたしました。2年間続いたテレビ会議による理事会の開催を取り止めさせて頂き、理事の皆様が一堂に会して以前の方法に戻し、フェイス・トゥ・フェイスでより一層、意思の疎通を図るねらいが果たせたのではないのでしょうか。

また、懸案でした連合会事業の柱の一つに技能検定事業がありますが、「プラスチック技能検定推進協議会」を連合会の委員会組織に組み入れ、一体化を図ることができました。これも各地区協会・検定関係役員各位のご努力のお陰であり感謝申し上げます。

そして高田課長様、藤田課長補佐様が、親身になって且つ素早く対応して戴いたおかげで、緊急保証制度の業種指定を早い段階で受けることができました。1月の賀詞交歓会の際にはご来賓で出席戴いた高田課長様に不躰でしたが段ボール価格が一向に下らない実情について訴

ISONO いそのプラスチック材料

有限なる資源を限りない人生の幸福のために

いその株式会社

名古屋市東区相生町55 〒461-0012

TEL(052)931-1211(代)

FAX(052)930-1975

えましたところ、直ぐに奔走して戴き、その結果として4月からの段ボール価格の引下げに繋がりました。改めてここで感謝し皆様にご報告申し上げます。

この一年は、ご承知の通り、歴史的に未曾有の一年間でした。今年の賀詞交歓会で、国の内外で起こっている様々な「変」について少しお話をさせて頂きました。その延長で世界の自動車産業を百年にわたってリードしてきたあのGMが破綻いたしました。未だ暫くは、私ども企業経営者にとって厳しい状況が続くと思いますが、一方で「極めて僅かですが、明るさの気配」が感じられるとの記事がありました。

賀詞交歓ではまた、「新たな活路を見出すべく的確な情報を得て、あらゆる手段を用い、それぞれの企業で、新たな道を切り開いて頂きたい。1日も早い景気の回復を信じ、会員一同、力を合わせこの危機を乗り越えて参りたい」と私は申し上げます。

国も、今度の補正予算では、さらに思い切った施策を打ち出して戴いたようです。後で、高田化学課長さんからその辺のお話をいただけるかもしれません。

最後になりますが、この一年が、皆様方にとりまして「災いが転じて福となる」ような年になりますことをご祈念申し上げ、簡単措辞ですがご挨拶とさせて頂き戴きます。本日は 誠に有難うございました」

(第48回通常総会 服部会長あいさつ要旨)

富山プラ工業会が通常総会 熱心に記念講演会聴講

富山県プラスチック工業会第48回通常総会が5月26日富山第一ホテルで開催された。

第1号議案から5号議案まで原案どおり承認された。

総会終了後、記念講演会が開催され、「環境時代とプラスチック技術の進化」のテーマで金沢工業大学ものづくり研究所客員教授松井醇一氏が講演された。

天然物の時代から木材化学の時代、石炭化学の時代、石油化学の時代、新複合材料の時代の現代まで、プラスチックの技術がどのように発展を遂げたかが、順を追って解説された。初めての内容も多く、新鮮な気持ちで聞き入っていた。

その後開催された懇親会では、昨年10月の名古屋での交流会参加者らと懐かしく話すことができた。今年の8月には富山へ工場見学と交流会で訪問する。



富山県プラスチック工業会 通常総会

BLOW MOLDING
ゴトープラスチック株式会社

取締役会長 後藤 壽夫

〒452-0838 名古屋市西区長先町59番地
TEL (052) 502-7671
FAX (052) 502-6451
Mail: t.goto@goto-plastic.co.jp

株式会社 三幸商会

取締役社長 若尾 剛

名古屋市千種区内山三丁目3番2号 〒464-0075
TEL (052) 733-5111(代) FAX (052) 733-5141

Sanko Shokai Co., Ltd

3-3-2, Uchiyama, Chikusa-ku, Nagoya, Japan
TEL : (052) 733-5111 FAX : (052) 733-5141

スケッチ

「黎明期の特殊塗装」

川西塗装株式会社

代表取締役 川西 克司氏

川西塗装（豊橋市明海町2-77、代表取締役＝川西克司氏）は昭和57年からプラスチックの塗装を始め、平成元年には成形部門を発足し現在は自動車外装部品（バンパーやスポイラー等々）の成形・塗装・レーザー加工の生産を行っている。

昭和26年の創業時にはカメラ筐体（写真1）の塗装等をしていた。

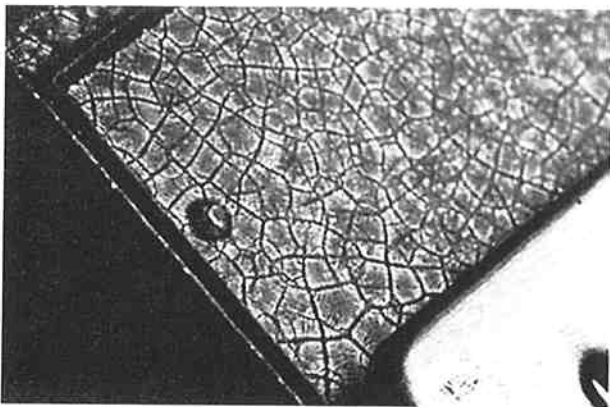
この時のカメラメーカーは、昭和5年創業の「東郷堂」。国産トイカメラの元祖で、戦前には海外のアジア地域でも売られるほどに急成長した。

80歳以上のご年配なら、白昼現像の実演販売を記憶されている方もおられるでしょう。

そのカメラ本体にワニ皮調の特殊塗装を行っていた。

これは乾燥の方法にポイントがあり、模様を一定品質にすることが大変だったそうだが、現在でもカメラマニアの間で格好の良さに定評があるらしい。

同社の黎明期に伝説的カメラメーカー「東郷堂」を支えた技術が現在、自動車関連のものづくりに生きていることは、まさに歴史を感じるところだが、50年後振り返ったときに同じような体験ができる様、全社一丸で取り組んでいる。



取出用ロボット・FAシステムの総合開発

STAR

株式会社スター精機
名古屋支店

〒480-0132 愛知県丹羽郡大口町秋田3-133

TEL 0587(95)7557 FAX 0587(96)1291

浜松営業所 / 〒431-3124 静岡県浜松市東区半田町241 ☎053(432)6131 053(433)0107
本社・工場 / 〒480-0132 愛知県丹羽郡大口町秋田3-133 ☎0587(95)7551(代)
出雲工場 / 〒699-0631 島根県蔵川郡斐川町大字直江町3538 ☎0853(72)4311

技術とハートがスパークする
ドラマチック創造企業

プラスチック、セラミックス、MIM金型

 株式会社 三洋製作所

本社工場 名古屋市緑区鳴海町下汐田177番地

TEL 052-621-5238 FAX 052-621-3501



瑞宝単光章を受章

株式会社 松栄工業所
代表取締役社長
大森文男

4月29日付で発表された春の叙勲で、正会員(株)松栄工業所代表取締役社長大森文男氏が瑞宝単光章を受章した。

5月7日愛知県庁での伝達式、14日には皇居での拝謁式にそれぞれ出席した。

同氏は平成元年に愛知県職業能力開発協会より技能検定委員に委嘱され現在まで20年間技能検定の推進に尽力し、その功績が認められ今回の受章となった。また、平成2年から10年まで組合の理事・監事を務め業界の発展に尽力した。

平成11年に愛知県知事表彰(優秀技能者)、18年に厚生労働大臣表彰を受賞している。



拝謁式で表彰を受ける大森文男氏

訂正とお詫び 前号(第75号)4P「スケッチ」表題中の、則武化学株式会社代表取締役 立木繁一とあるのは立木繁が正しく、ここに訂正しお詫び致します。

 **中央三井信託銀行**

名古屋支店 TEL.052-242-7311
〒460-0008 名古屋市中区栄3丁目15番33号栄ガスビル



ペットボトルホルダー「掛太郎」

日進合成樹脂工業所が開発

日進合成樹脂工業所(名古屋市緑区大高町杖前48-1、代表取締役=宮崎伸介氏)は、このほどペットボトルホルダー「掛太郎」(写真:実用新案登録済)を開発した。

「掛太郎」は、販売促進用グッズとして、また座席前の背カバーの取っ手、ネット等に掛けて使用できる。装着が簡単で、取り外しもワンタッチ。抗菌仕様で安心かつ安全で、アルコール洗浄も可能である。

【問い合わせ】

TEL052 (622) 3672。

FAX052 (623) 4769。

<http://www.nissin-gousei.co.jp/>



21年度 第1回支部会

- ・第1支部=5月15日、「会集」 出席7名
- ・第2支部=5月21日、「千とせ家」 出席5名
- ・第3支部=5月23日、「南山C・C」 出席8名
- ・第4支部=5月15日、「みかど」 出席9名
- ・第5支部=5月15日、「栄太郎」 出席4名
- ・第6支部=5月 7日、「大森」 出席10名
- ・第7支部=5月12日、「朝熊」 出席6名
- ・第8支部=5月 8日、「喜久鯨」 出席9名

 **第一実業株式会社**

本社 東京都千代田区二番町11-19 〒102-0084 ☎ダイヤルイン・東京(03) 5214-8500
大阪支店 大阪市北区天満5丁目14番10号(梅田UNビル) 〒530-0047 ☎ダイヤルイン・大阪(06) 366-2800(受付案内台)
札幌支店 札幌市中央区南一条西3丁目8番地(札石ビル) 〒060-0061 ☎(011)241-2435(代表)
名古屋支店 名古屋市中区錦2丁目3番4号(名古屋錦フロントタワー) 〒460-0003 ☎(052)201-5471(代表)
広島支店 広島市中区中町8番12号(広島グリーンビル) 〒730-0037 ☎(082)248-0295(代表)
営業所 仙台・静岡・四国・福岡
出張所 滋賀・北関東

青年経営者研究会

第34回通常総会開く

青年経営者研究会の第34回通常総会が4月17日午後6時より名古屋国際ホテルで来賓4名、会員15名が出席して開催された。

初めに尾崎会長の挨拶の後、出席状況の報告、精神斉唱、第1・2号議案の平成20年度事業報告・決算報告が原案通り承認可決された。次に役員改選が行われ、尾崎会長の再任と一部理事変更が原案通り承認された。続いて第4・5号議案平成21年度事業計画案・予算案の審議に移り、原案通り承認可決された。

議事終了後、来賓代表の愛知県産業技術研究所材料技術室長来川保紀氏から祝辞がおくられた。

総会終了後会場を移して懇親会を開催し、名

21年度新役員

▽会長 = 尾崎浩一 (オプコ)

▽副会長 = 川西正克 (川西塗装)

▽理事 = 〈会計担当〉宇佐美義則 (ウサミ化成)、〈書記担当〉児玉真弥 (三扇化学)、立木繁 (則武化学)、盛田秀一 (金城化工)、山崎宏文 (タツミ化成)、後藤真介 (ゴトープラスチック)、大森晃 (松栄工業所)、内田直志 (内田化成)、瀨瀬英幸 (交告プラスチック加工)、鷺見圭一 (鷺見化工)、久留健司 (化研)、澤田俊也 (桂化学工業)

▽監事 = 中村公彦 (大京化学) 〈敬称略〉

古屋市工業研究所濱田幸弘所長の発声で乾杯、和やかな歓談のなか組合の児玉理事長の中締めで閉会となった。

会長挨拶

株式会社 オプコ
尾崎浩一



当会は愛知県プラスチック成形工業組合の後継者を軸に集い、会の精神である「切磋琢磨」の場として、会員の資質・成人意識向上、企業・業界の発展及び総合理解、リーダーシップの養成を目的に活動しています。巣立っていかれた方には協会・組合の歴代会長を歴任された方、更には業界を超えた場で活躍された方々があり、若年層の学びの場として、既に33年の歴史を経ております。

昨今、減りつつあった会員数も先輩及び関係各位のご支援で徐々に増えはじめ、現在十数名の理事で役員を構成し、例年の総会、定例の理事会、工場見学会、各種研修会、講演会を開催し、有意義な情報交換や各企業、業界発展に必要な事業を行う事が出来ております。

おりしも経済は急激な悪化状況となり、各社は深刻な経営へとなりつつあります。

その意味で経済産業局等行政支援の拡充をねらいに、ものづくり技術力の維持・強化を図る取り組みが行われ、それらに代表される行事に対し、青年会も積極的に参画し、加えて賛助会員である材料メーカー・商社、成形機・付帯設備企業とも連携し、業界の将来や夢ある組織として邁進する所存であります。今後とも皆様のご理解により、更なる充実及び会員増強にご協力願える事を切に願います。

生涯
設計

それぞれの生き方に、
いつもベストな備え方。

一生涯のパートナー

第一生命

第一生命保険相互会社
ホームページ

<http://www.dai-ichi-life.co.jp/>

「共に歩む」正会員と賛助会員の交流コーナー

プラスチック中部では、正会員と賛助会員の交流を誌上で深めるため、『共に歩む』（賛助会員のコーナー）を掲載しております。今回は、(株)TENPAKU・Rを紹介します。

TENPAKU・R はお客様のイメージをカタチにする開発支援企業です。

業務内容

当社の業務はお客様の新製品開発において、企画・デザイン・設計・試作モデル・試作部品・金型・成形・塗装・少量生産・組み立て工程などの一連の工程を支援する企業です。自社で開発部をお持ちのお客様でも企画の段階から試作や組み立て・少量生産までを当社がスピーディーに一貫して行う事で開発費の効率化をはかる事ができます。

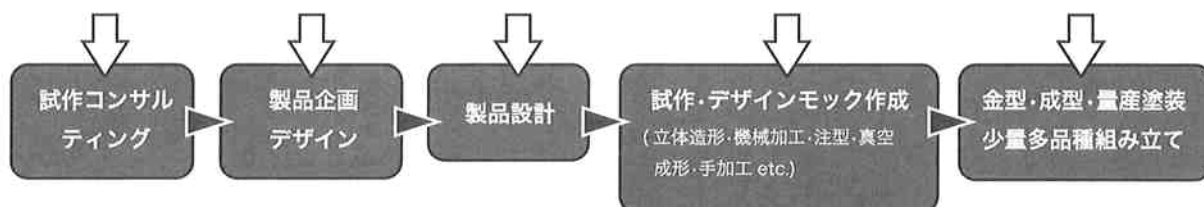
取扱商品

当社が手掛ける製品は様々。小型部品から雑貨・家電・ロボット・車・航空機など、時には展示会ブースの設計、ロゴ・パンフレットに至るまで様々なジャンルの企画・デザイン・設計・試作・塗装・少量生産をお手伝い致します。

設備・技術

Photoshop・Illustrator・3D-CAD による CG デザイン、CATIA V5 ほか最新の CAD/CAM を利用したメーカーレベルの設計提案、ナイロン・光造形機を使用した3次元立体加工や NC・MC による部品切削加工、注型や真空成形による試作、量産用の塗装ブースなど。

どの段階からでも貴社のご要望にお応えする事が可能です。



創りたいものをお話下さい、その会話から我々がデザインしていきます。



TENPAKU・R
人と技術の新しい結びつき

株式会社 TENPAKU・R (テンパク・アール)

【本社工場】〒468-0044 名古屋市天白区菅原町 1009 番地

TEL: 052-891-8132(代表) E-mail: ttt@tenpaku.co.jp

052-891-8142(統括) URL: <http://www.tenpaku.co.jp>

